

I E A 石油市場レポートの概要（2018年3月15日公表）
（代表部仮訳のため、正確にはIEAのホームページを参照）

1. 2018年の世界の石油需要は、150万バレル/日増加して9,930万バレル/日に達することが見込まれる（先月の予測から10万バレル/日の上方改訂）。2017年の世界の需要は9,780万バレル/日と推定される（先月から不変）。
2. 2018年のO E C D加盟国の需要見通しは、速報値データの強い数字により24万バレル/日の上方改訂。パキスタンやイラクの発電の天然ガスへの転換によって、非O E C D加盟国での需要は、15万バレル/日の下方改訂。
3. 2月の世界の石油供給量は、非O P E C加盟国の産出増加により前年70万バレル/日上昇し、9,790万バレル/日となった。今年の非O P E C加盟国の生産増加は、米国での堅調な伸びにより、180万バレル/日になるだろう（去年は76万バレル/日の増加）。
4. 2月のO P E C加盟国の原油生産は、ベネズエラとU A Eの生産減により、3,210万バレル/日と少し減少した。2018年後半のO P E C加盟国の原油生産は、3,260万バレル/日（現在より48万バレル/日高い）へと着実に増加する。
5. 1月のO E C D加盟国の商業在庫は、過去七ヶ月で初めて増加し、28億7,100万バレルとなった。しかし、1,800万バレルの増加は通常の半分程度のレベル。過去五年間の平均在庫量からの余剰は5,300万バレルまで下がった。クッシングの原油在庫は過去三年で最低水準に低下している。
6. 2月の世界の原油価格は2月前半に低下し、その後、落ち着きを見せた。ICEのブレント先物曲線は、バックワーデーションのままであるが、スプレッドは縮小している。今年のブレンドの平均価格は67ドル/バレルに近づいている。
7. 2018年第1四半期の世界の精製量は、2017年第4四半期の記録的水準から90万バレル/日の減少となった。第2四半期には、8,180万バレル/日の新記録まで上昇するだろう。精製量は、季節需要の増加に部分的にしか対応できず、在庫がその隙間を埋めることになるだろう。